

地域課題

- ・揖斐川町内にある「揖斐厚生病院」は、令和5年10月に隣接する大野町へ移転予定。
- ・現在、揖斐厚生病院への通院の際、町営の路線バス等の公共交通を利用している町民が多いため、移転後の新病院(西濃厚生病院)への移動手段の確保など、町内の公共交通の見直しが急務となっている。
- ・また、別途運行しているデマンドバスも含め、公共交通には多額の経費を要しているため、町民ニーズにあった効率的な運用が求められる。

協議会の立上げ(第1回会議:9月21日開催)

構成団体

- ・揖斐川町
- ・揖斐タクシー(株)
- ・樽見鉄道(株)
- ・養老鉄道(株)
- ・岐阜県(デジタル推進局)

コーディネーター

- ・中村紘子(OKB総研主任研究員)

オブザーバー

- ・大野町
- ・岐阜県(公共交通課)

※松島ぎふDX支援センター長など有識者も参加

地域課題を解決するためのデジタル技術の活用案

※協議会で議論し、今年度中にプロジェクトを策定

- ・利用形態データを活用した分析・課題抽出を行い、効率的な運行形態の確立。
- ・デマンドバスの予約システムのオンライン化による利用者の利便性向上や、AIによる効率的な配車管理。